

## 榛原地域就学前施設・こども家庭センターの整備について



宇陀市（健康福祉部こども未来課）

## I. 建設の目的

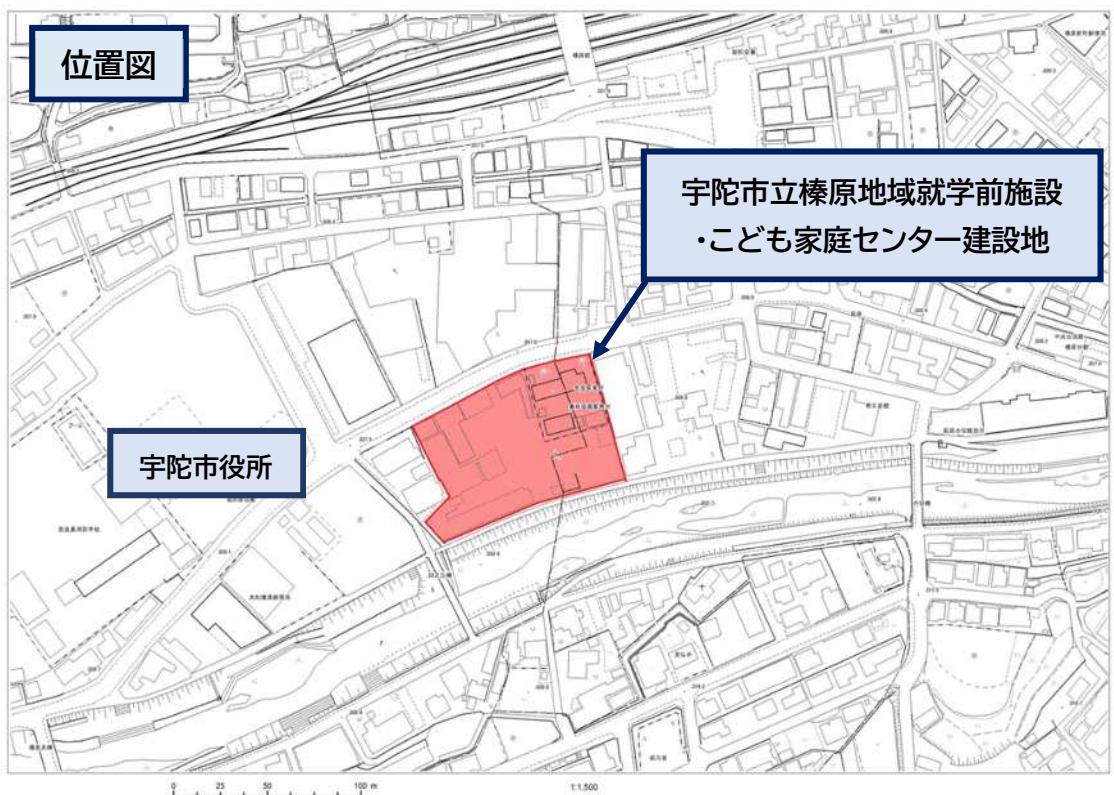
少子化が進む中で、子育て世代の皆さんは多様な暮らし方、働き方ができるように、充実した就学前教育・保育を求めておられます。

宇陀市では、「こどもまんなか社会」の実現をめざして、榛原幼稚園・榛原東幼稚園・榛原北保育園を統合した「幼保連携型認定こども園」と妊娠期から出産・子育て期を切れ目なく支援するための「こども家庭センター」を整備いたします。令和8年4月開設予定です。

## 2. 建設場所

建設場所は、旧奈良県東部農林振興事務所跡地と、隣接する旧三洋堂書店跡地です。この土地は、宇陀川を南に配し、自然豊かな風景があり、市内各地からのアクセスが良く、医療施設や商業施設などの生活サービス施設が集約されていることから、若い世代の居住人口が多く、子育てニーズが高い地域です。

約 6,800 m<sup>2</sup>の広い敷地面積は、こども園及びこども家庭センターの設置や運動会が開催できる園庭に必要な面積を有しており、保護者のニーズを満たした、子育て世代にとって魅力のある場所です。



### 3. 事業経過（報告・説明会等）

#### （1）議会への報告、承認

事業の進捗に合わせて段階的に、市議会への説明を行い、予算の承認を頂いています。

令和5年 3月 建設候補地を説明、報告  
6月 建設基本計画などの予算承認  
9月 設計業務予算承認  
12月 基本計画の報告  
3月 用地購入費などの予算承認  
6月 建設工事予算と債務負担、用地取得の承認

#### （2）市民の皆様への報告、説明

令和5年11月 第20回こども・子育て会議で報告  
令和6年 2月 計画位置や施設の概要報告（HP・コドモン）  
ボーリング調査案内（地元自治会回覧）  
7月 基本設計の報告（HP・コドモン）  
8月 保護者説明会 住民説明会 解体工事地元説明会  
10月 地元自治会長へ説明  
11月 うだチャン「市政なう」で事業説明  
保護者説明（榛原幼稚園・榛原東幼稚園・榛原北保育園）  
12月 広報うだで事業説明

### 4. 保護者説明会での意見

令和6年11月に保護者役員説明会を開催し、概ね賛成のご意見をいただきました。

#### （1）榛原幼稚園

- ・ 様々な対策がされていることが分かりました。水害の心配もありましたが、色々わかりやすく説明されていて良かったです。
- ・ 河川が近いことが心配でしたが、最悪の場合まで想定してシミュレーションしていただいていると分かり少し安心しました。
- ・ 新しいこども園に子どもが通える事がすごくうれしい。
- ・ ひとつの所で子どものことが完結でき、駅前だし仕事を持つ親は便利だと思います。
- ・ 道路が近く不安な部分もありますが、子どもが集まり、今より人数の多い中で生活できるので、刺激をたくさん受けることができ、良いと思います。
- ・ 駅からも便利ですし、登園させやすいので賛成します。車でも、徒歩でもどちらでも対応しやすい場所なのでありがとうございます。

- 市役所の近くで、すごく便利だと思う。妊娠から出産、子育てまで同じ施設でしていただけるのは、すごく助かります。

#### (2) 椿原東幼稚園

- 安全な場所に建設だと主張されていたが、そのような安全な場所がハザードマップに記載されることはないと思っている。ただ、今回の説明を受けて安心できたというのが正直な感想です。避難場所やそこへ行くまでの方法など、今後しっかりと考えていただき、説明くださると安心できますのでよろしくお願ひします。
- 浸水の心配をしていましたが、説明を聞いて少し安心しました。避難ルートなどをまた説明していただけるとありがたいです。
- とても素敵な建物だと思いました。宇陀川が人工河川だと初めて知りました。過去の大雨、台風時の水位のデータもあり、分かりやすかったです。近年は予測の難しい大雨、洪水も増えており、1000年に1度とはいえ、それがいつ起きてもおかしくないと思っている保護者の方も多いと思います。緊急時の避難についても、もっと具体的な案が先に分かればなあと思いました。
- 想定外は起こりうること。100%大丈夫とは思えません。ただ、想定外のことが起こった場合の対策を細かく考えているので、その点は安心しました。
- 利便性が良い。どの土地に建ててもそれなりのデメリットはあると思います。

#### (3) 椿原北保育園

- 浸水の説明が分かりやすかったです。ウッドデッキとプールがとても良いなと思いました。こども家庭センターが一緒になっているのが便利だと思いました。
- 洪水への備えがされていることが良く分かった。いざという時の避難計画は職員間で徹底されるべきだと思う。
- 現時点では想定できる色々な対策などは、きちんとしてくださっていると感じました。建物は本当に使いやすそうだし、楽しく過ごしてくれるだろうなと思いました。完成が楽しみです。
- 少子化なのでたくさんの子ども達が触れ合えるのはとてもいいことだと思います。
- 迎えの時、現在の園は暗く、不安、危険を感じていましたが、新しい園は明るく、沢山の人の目が届くということに安心しました。
- 現在の3園は老朽化が進んでいるので、新しい方が安全や衛生面に期待が持てる。
- 南海トラフ地震などの災害が想定されるなか、幼稚園・保育園の老朽化は進んでおり、子どもの安全の確保のためにも、新しい建物へ移ることが急務であると感じる。
- 椿原の中でも比較的人が多い場所なので、各方面からの登園が便利。土地が広くコの字型の園が作れ、園児の交流もスムーズに行える。

#### (4) 子育て支援センター 「市政なう」を視聴して頂き、アンケートのみ実施しました。

- ハザードマップなどの話もありましたが、良い場所だと思います。県道沿いのため、送迎時の渋滞は多少気になりますが、十分な駐車スペースや送迎時の動線で解消できるのかなと思うので、期待したいです。

- ・ 新しいこども園に対する期待が高まりました。少なくなってきたいる子どもたちのために新しい施設、環境を整えていただけるのは、とても有難いと思います。
- ・ 棚原こども園は必要だと思うけど、支援センター家庭センターを含めた施設が必要なのかと疑問に思う。お金をかけて大きなセンターを作る意味あるのかなと思います。
- ・ 立地など、専門家が考えて作ってくださると思うのですが、必ず子どもの数が減ります。せっかくいろいろ建てたものが不要になっていくのを見ておりますので、それと同じにならないか気になるところです。維持は大変です。
- ・ 8月から引っ越しをしてきたのですが、これから宇陀市の活性化が楽しみになりました。
- ・ 交通量が多いことや川のすぐそばというのが気になります。
- ・ こども家庭センター併設なので手厚いサポートが受けられることに期待。
- ・ 広い土地が有効活用されるのは良いと思う。立地が良く市役所の近くで、行政機関が一ヵ所に集約されるのは利便性が良く、使いやすくなると思う。
- ・ こども園の建設には賛成。川の増水が気になります。これまでに浸水したことがないので、という説明では不安を取り除くことはできないです。
- ・ 待機児童も増えている中で、広くてきれいな施設があると良いと思ったため賛成。
- ・ 建物が古い施設もあるので、新しく建設していただけることは嬉しい。また、幼稚園・保育園が統合することにより、少子化対策になって良いと思う。

## 5. 防災対策

### (1) ハード対策（建物構造による対策）

- ・ 建物を基礎により1mかさ上げ、園庭部分には1mの盛り土で浸水を防ぎます。
- ・ 止水板を設置し、建物への浸水を防ぎます。
- ・ 川側の遊歩道と園庭の間に1mの擁壁を設置し、園庭・建物内への浸水を防ぎます。（レベル309.1m）
- ・ 上階へ受変電設備を設置して万が一浸水した場合の早期復旧を早めます。
- ・ 棚原こども園は、建物が鉄骨造、基礎が鉄筋コンクリート造の建物です。地面から約5m下に岩盤があり、建物はこの岩盤へ196本の改良杭で固め、岩盤と一体になった強固な改良杭が建物を支える構造になります。

※1 地質調査の結果、建物基礎の支持層（建物を支えるのに適した十分な固さを持つ地層）は、現状の地盤面から5mほど下に岩盤層があり、基礎底から支持層までは改良杭で地盤を補強します。

※2 万が一の河川災害や地震が発生しても、傾いたり、流出するなどの恐れはなく、災害があっても大きな補修をすることなく使用できることを目標とし、人命の安全確保、施設の機能保全を図っています。

## （2）ソフト対策（避難確保計画の作成）

建設地は、浸水想定区域に立地するため、開園開始の令和8年4月までに「避難確保計画」を作成します。園児の円滑かつ迅速な避難を確保するために必要な防災体制や訓練などに関する事項を定めた計画です。

※ 平成29年6月より水防法が改正され、浸水想定区域や土砂災害警戒区域に位置し、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の所有者または管理者は、「避難確保計画」の作成と避難訓練の実施が義務付けられています。

要配慮者利用施設の範囲は、有料老人ホームや障がい者支援施設、病院などで、幼稚園・保育園・こども園も含まれます。

## 6. 避難確保計画

### （1）策定時期

開園までに作成し、市に提出します。

### （2）計画の項目

- ・計画の目的
- ・計画の報告
- ・計画の見直し
- ・計画の運用範囲
- ・施設が有する災害リスク
- ・防災体制
- ・防災情報収集方法
- ・情報伝達方法
- ・施設型タイムラインの設定
- ・避難誘導方法
- ・避難経路の設定
- ・施設の整備
- ・防災教育及び訓練の実施
- ・施設内における避難経路
- ・緊急連絡網の作成
- ・外部機関等の緊急連絡先の作成

### （3）避難訓練

開園後は、この計画に基づく避難訓練を実施します。

## 7. 今後の事業スケジュール

- ・令和6年9月より旧東部農林振興事務所の解体工事を実施しており、12月に完了します。
- ・令和7年1月に建設工事に着工
- ・園の統合及び開園に向けて、令和6年9月より統合準備委員会を設置しました。委員会では、制服、園歌、園章、バスルートなど主にソフト面を協議しています。

～令和8年4月開園を目指します～

